

新宿力がつながる・ひるがる

地域協働学校

～地域の力を学校へ～



地域協働学校は、
学校、保護者、地域が一緒になって
子どもたちの豊かな学びの環境を
つくっていくしくみです。

地域に根ざした教育活動

四谷小学校

四谷小学校の3年生は、総合的な学習の時間を使って「花いっぱい運動」に取り組んでいます。24年度は、学校支援ボランティア「スマイルクラブ」の方々と一緒に日花草を植えました。

子どもたちはプランターを商店や企業に届け、地域の方々との交流を図っていきます。「ありがとう。きれいな花ね。」の言葉が何より嬉しいです。その後の水やりなど、花の世話まで責任をもって行っています。



学校づくりに生徒も参加

四谷中学校

四谷中学校では生徒会が中心となり、生徒が地域協働学校運営協議会に参加し、委員の方々と共によりよい学校をつくるための協議を行っています。

行事関係、学習関係等の各分科会に分かれ、地域とかかわりながら活動を進めることで、生徒の活動が様々な面で活発に行われるようになってきています。



地域協働学校とは

学校運営について協議し学校を支援する組織として、その地域の住民・保護者・教職員等の委員で構成する「地域協働学校運営協議会」を設置した学校です。

学校の運営に地域住民・保護者等が参画することで、地域に信頼され、地域に支えられる開かれた学校づくりを進めています。

平成24年4月現在、4校の区立小・中学校を地域協働学校に指定しています（四谷小学校、四谷第六小学校、花園小学校、四谷中学校）。

地域協働学校のしくみ



地域協働学校導入の目的

学 校

地域の方や保護者の参画を通して、開かれた学校づくりを進め、教育活動の充実を図ります。

地 域

学校支援活動を通して地域のネットワーク化を進め、学校を核とした地域コミュニティの活性化を図ります。

子 ども

学校と地域・保護者の連携で、子どもたちに地域の一員としての自覚を促し、地域を担う次世代の人材としてはぐくみます。

地域の方が子どもの学びをサポート

花園小学校

毎年、夏休み中に実施している「花園サマーセミナー」は、これまで教員が中心となって進めてきました。

地域協働学校になってからは、地域の方の協力で、木工教室、手作り遊び教室、茶道教室などの講座を開き、地域との交流を深めています。

子どもたちは、地域の方々とのふれあいを通して、普段あまり体験できない活動に挑戦しています。



ボランティアが集まりました

四谷第六小学校

地域協働学校運営協議会の呼びかけで、30名近くの保護者が校庭の芝刈りボランティアに手を挙げました。夏休み中、週2回、毎回10～15人が集まり、地域の方に芝刈りのやり方を教わって一緒に汗を流しました。

あっという間に伸びる芝の成長に驚いたり、木陰の一休みで会話がふくらんだり、地域協働の輪が少しずつ根づいています。



地域協働学校 Q&A



Q 地域協働学校運営協議会ってどんなことをするの？

A 地域協働学校運営協議会は、地域協働学校の中心となる組織です。
地域に根ざした教育活動の充実のために、学校と地域の方、保護者などからなる委員が学校運営や学校支援活動などについて協議を行います。会議は月一回程度開催され、活発な議論や情報交換が行われています。

Q 委員はだれになるの？

A PTA、スクール・コーディネーター、町会、商店会、地区青少年育成委員会など、子どもたちの育成に関わる方々が委員となっています。学校からは校長や教員も委員となっています。
委員は、教育委員会が任命する非常勤公務員で任期は1年です。

Q 支援部ってどんな役割をもっているの？

A 支援部は、地域協働学校運営協議会の中に設置する組織です。
「学習支援」「環境美化」「健全育成」など、学校ごとにテーマを決めた支援部を設置し、委員がメンバーとなって、保護者や地域ボランティアなどの学校支援活動がより効果的なものとなるようコーディネートする役割を果たしています。

Q 学校支援活動はどうなっていくの？

A 区立小・中学校では、PTAや地域団体のご協力で様々な学校支援活動が行われています。地域協働学校では、支援部のコーディネートで活動の充実や連携の広がりを目指しています。
例えば、保護者と地域の方が一緒に活動できるボランティア組織ができるなど、無理なく継続できる取り組みが進められています。

Q 今後、地域協働学校は広がっていくの？

A 教育委員会では、順次、地域協働学校の指定学校を増やしていきます。
指定にあたっては、1年間は準備校とし、各学校の状況や地域の実情に十分配慮しながら円滑な導入を図ります。

